

制度概要

取引対象指数	CME原油等指数
取引単位	CME原油等指数×10,000倍
呼値の単位	0.05ポイント(1取引単位当たり500円)
限月取引	直近6か月の6限月制
取引最終日	各限月の第一営業日(米国における当該日がCME原油等指数が算出されない日に当たる場合は、順次繰り下げる。)
取引時間	8時45分～15時15分、16時30分～6時00分(翌日取引)
制限値幅	通常値幅：10%、第一次拡大値幅：20%、第二次拡大値幅：30%
決済方式	現金決済
最終清算数値	取引最終日の終了する日の米国における当該日に算出される指数値。ただし、当該指数が負の値の場合には最小の呼値の単位の正の値とする。
ペナダーコード	QUICK：FCMEPI.n/O Bloomberg：CMEA Index Refinitiv：100ms interval; JCPICn Full Order Book; JCPIRcn

対象指数の算出方法

ロールオーバー期間を除き、直近限月の対象の先物の清算値段に基づいて計算されます。
CME原油等指数は以下の式で計算されます。

$$\text{CME原油等指数} = \frac{\text{計算日における構成要素の三先物取引の加重平均価格}}{\text{基準日における構成要素の三先物取引の加重平均価格}} \times 100$$

※ ロールオーバー期間中は、先物取引の取引最終日前の5日間の流動性の傾向を考慮して、CME原油等指数の算出に採用する清算値段を第一限月と第二限月を以下のウエイトで平準化します。従って、第一限月の取引最終日前日には、第二限月のみがCME原油等指数の計算に利用されます。

ロール期間中のウエイト	第一限月	第二限月
構成要素の各先物取引の取引最終日の6営業日前	100%	0%
同5営業日前	80%	20%
同4営業日前	60%	40%
同3営業日前	40%	60%
同2営業日前	20%	80%
同1営業日前	0%	100%



対象指数の構成要素

名称	CMEプロダクションコード
NYMEX WTI 原油先物 (NYMEX WTI Crude Oil futures)	CL
NYMEX RBOB ガソリン先物 (NYMEX NY Harbor RBOB Gasoline futures)	RB
NYMEX NY Harbor ULSD ヒーティングオイル先物 (NYMEX NY Harbor ULSD futures)	HO

免責事項：CME グループの市場データは、(株) 大阪取引所及びその関連会社の特定の商品のための情報源として、ライセンス契約に基づき使用されるものとなります。CME グループは、(株) 大阪取引所及びその関連会社の商品及びサービスとの間でそれ以外の関係を有してはならず、(株) 大阪取引所及びその関連会社のいかなる商品及びサービスも広告、支持、推奨又は宣伝することはありません。CME グループは、(株) 大阪取引所及びその関連会社の商品及びサービスに関連して義務又は責任を負っていません。CME グループは、(株) 大阪取引所及びその関連会社に使用を許諾した市場データの正確性及び/又は完全性を保証してはならず、当該市場データにおける過誤、省略又は中断の責任を負っていません。CME グループ及び(株) 大阪取引所及びその関連会社の間の合意において受益者となる第三者は存在してはなりません。本出版物は、「CME原油先物 正式名称：CME原油等指数先物 CME Group Petroleum Index Futures」取引の説明を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。(株) 大阪取引所は、本出版物の記載内容については万全を期しておりますが、お客様が本出版物の記載内容に基づいて行われる取引その他の行為及びその結果について、何ら責任を負うものではありません。本出版物は著作権法によって保護されており、(株) 大阪取引所に無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。

金融商品取引業者使用欄

K 光世証券株式会社

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第14号
加入協会：日本証券業協会



CME原油先物

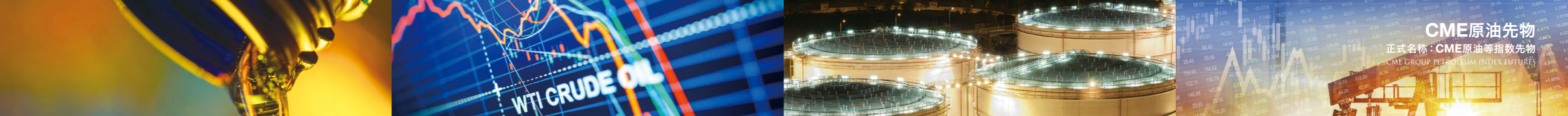
正式名称：CME原油等指数先物
CME GROUP PETROLEUM INDEX FUTURES

CME原油等指数とは

CME原油等指数は、米国を本拠とし、世界各国でデリバティブビジネスを展開しているCMEグループの中核をなすニューヨーク・マーカンタイル取引所(NYMEX)の中でも、エネルギー部門で特に人気が高い「WTI原油」、「ガソリン」、「ヒーティングオイル」の3つの先物価格を基に、CMEが2020年8月より算出している新しい指数です。

CME原油先物が大阪取引所に上場

大阪取引所は、投資家ニーズの国際化、多様化及び高度化等を踏まえ、2021年9月21日、CME原油等指数を取引対象としたCME原油先物(正式名称：CME原油等指数先物)を上場。これにより、米国の主要な3つのエネルギー関連先物を、CME原油先物を通じて、まとめて国内でお取引いただけます。また、取引制度は日経225miniと類似し、投資家の皆様に馴染みのある商品設計となっています。



CME原油先物
正式名称：CME原油等指数先物
CME GROUP PETROLEUM INDEX FUTURES

大阪取引所に上場する CME原油先物の4つの特徴

特徴1 WTI原油先物と高い相関があります

CME原油等指数とWTI原油先物の直近限月の価格の相関係数は「約0.9995」*1です。相関係数が1に近いほど似たような値動きをしていることを意味しますので、非常に似た値動きをしていることがわかります。このため、WTI原油先物の代わりにCME原油先物を活用することも検討できます。

*1 計算期間：2020年8月～2021年5月

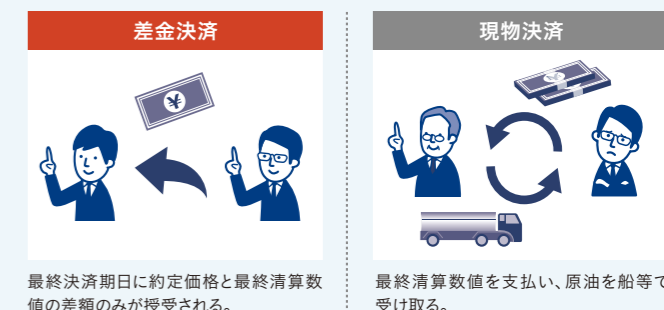
CME原油等指数とWTI原油先物価格の推移



特徴3 最終決済は現金で行うため、現物のやり取りがありません

CME原油先物は、決められた期日（取引最終日）までに市場価格で反対売買（転売又は買戻し）を行って清算するか、最終決済期日に、約定価格と最終清算数値の差額で現金清算（差金決済）することで、取引が終了します。このため、決済のために実物の原油を用意したり、代金を支払って、原油を受け取ったりすることはありません。

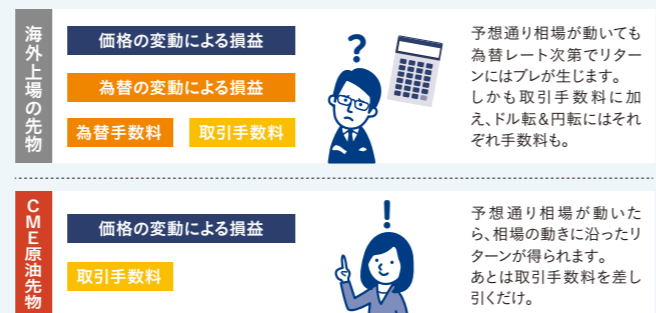
買建玉を持ったまま取引最終日までに反対売買しない場合



特徴2 為替を気にせず円建てで取引できます

海外の取引所に上場している商品に投資をする場合、現地通貨建てでの取引となる場合がありますが、CME原油先物は、「円」でお取引できます。為替手数料がかからないうえ、ドル円相場の変動による収益のプレを気にすることなく、指数の変動が直接リターンとして円建てで得られます。証拠金も円建てで計算されるので、ポジション保有にかかるコストがより明確にわかります。

CME原油先物と、海外先物の損益構成の比較



特徴4 大阪取引所の先物・オプションと同じ口座で取引できます

先物・オプション口座で投資できる商品に、CME原油先物も加わりました。先物・オプション口座内では、各取引の損益が一元的に管理されるので、取引ごとに証拠金を振り替える必要はありません。既に先物・オプション口座をお持ちのお客様は新規口座開設をせず、お取引できます*2。

*2 取扱商品に関しては、証券会社又は商品先物取引業者（金融商品取引等業者）へお問い合わせください。

先物・オプション口座のイメージ



CME原油先物を使った投資のヒント!

分散投資に活用 リスク分散としてのCME原油先物

原油は、金とは異なる値動きをすることが知られており、株式市場とは異なる要因で変動する場合もあるため、ポートフォリオに組み入れることで収益を安定化させる効果が期待できます。また、CME原油先物は、取引制度が日経225miniや金ミニ先物と類似しており、円建てで取引が可能です。既に日経225miniや金ミニ先物を取引されている方には大変わかりやすい商品設計となっています。

日経225mini、金標準先物及びWTI原油先物の価格の推移



上級者の方はこんな使い方も! CME原油先物とブラッドパイ原油の商品間価格差を狙った取引

世界三大原油のひとつであるドバイ原油は、東京商品取引所ではブラッドパイ原油の名称で上場し、大阪取引所と同じプラットフォームで取引が可能です。油種や主に使われる地域は異なりますが、原油商品ということでブラッドパイ原油とWTI原油先物は経験的には一定程度連動しており、CME原油先物とも価格変動は類似*3します。そのため、それぞれの先物の一時的な需給の歪み（一時的な割高/割安）を狙って売り買いを同時に行い、サヤを取る投資手法も考えられます。

*3 ブラッドパイ原油とCME原油先物との相関係数「約0.990」。計算期間：2020年8月～2021年5月

需給の歪みを狙った取引のイメージ

